

太陽光通信 第13号

弊社グラウンドモデル太陽光発電所をご利用いただきありがとうございます。今回は、新電力(PPS)と特定規模電気事業者についてご紹介いたします。

「新電力(PPS)」とは

新電力(PPS)とは、既存の大手電力会社である一般電気事業者(北海道電力、東北電力、東京電力、北陸電力、中部電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力等)とは別の、特定規模電気事業者(DPPS Power Producer and Supplier)を指します。

契約電力が50kW以上の需要家に対して、一般電気事業者が有する電線路を通じて電力供給を行う事業者、いわゆる「小売自由化部門への新規参入者」のことです。

2005年の電力自由化により、現在高圧需要家(契約電力が50kW以上の工場、オフィスビル、ショッピングセンター等)は、既存の大手電力会社以外の新電力と電力契約を自由に取り交わすことができます。

特別高圧 (2,000kW以上) 大規模工場/百貨店/高層ビル 自由化(2000年~)
高圧 (500~2,000kW以上) 中規模工場/中規模スーパー/中規模ビル 自由化(2004年~)
高圧 (50~500kW以上) 小規模工場/小規模スーパー/小規模ビル 自由化(2005年~)
低圧 (~50kW) 小規模工場/コンビニ/一般家庭 2016年 自由化の見込み

昭和シェル石油をパートナーとして選択

デベロップは特定規模電気事業者である昭和シェル石油株式会社(以下、昭和シェル石油)の共同調達者として、高圧需要家へ既存の大手電力会社よりも安い基本料金で電気を提供します。

弊社が昭和シェル石油をパートナーに選んだ最大の理由は、昭和シェル石油が大型電源発電所(火力発電)を所有しているため。現在500社以上の登録がある新電力の中でも、昭和シェル石油のようにベース電源となる大型電源発電所を所有する会社はほんの一握りです。

つまり昭和シェル石油は安定した電力供給を行える数少ない新電力なのです。



東京ガス・昭和シェル石油共同出資による火力発電所

**株式会社扇島パワー
扇島パワーステーション**

出力 80万kW(40万×2)
使用燃料 天然ガス

1号機 →2010年3月31日 運転開始
2号機 →2010年7月12日 運転開始
3号機 →2016年2月運転予定

安心、安定の新電力

電力供給を電力会社から昭和シェル石油に切り替えた場合、変わるのには電気料金だけです。

万が一、昭和シェル石油の発電所が故障などにより送電できなくなった場合、電気は電力会社から供給されるよう自動で切り替わります。また、送電には電力会社の送電網を利用するため、安定性、電気の質も従来と変わることはなく、常に安定した電気をご利用いただけます。

